

200人参加、高い関心

建コン九州技術講演会

建設コンサルタツ協会九州支部技術部会道路技術委員会は6日、福岡市のリファレ



ンス駅東ビルで技術講演会を開いた。写真。対面とウェブ会議形式の併用で会員ら200人以上が参加し、関心の高

さを伺わせた。

冒頭、同支部の愛敬圭二副部長は「日頃の仕事のヒントや他の場面で役立つ内容になっている。最後まで聞いてほしい」とあいさつした。

講演会では、九州地方整備局福岡国道事務所の仲谷俊昭所長が「道路行政の話題と道路分野のDX（デジタルトランスフォーメーション）への取り組み」と題してメタバースの活用をはじめとしたDXの最新情報を紹介した。このほか、地域創造活動に取り組むNEXCO西日本九州支社の濱野昌志地域共創担当部長が「地域づくりのプラットフォームを指して」、ネイ&パートナーズジャパンの渡邊竜一代表が「地域のための橋を架ける―出島表門橋から虎ノ門Tデッキまで―」をテーマにそれぞれ講演した。